



1. 事業構想評価

(1) 事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況(別紙)

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況															備考	
					1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目			5年目				
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	労働生産性(m <sup>3</sup> /人・日)の増加率	H30	R4	11%	5.8%	53%	12%	-4.9%	-41%	13%				14%				15%		事業実施主体2者(生野町森林組合、北はりま森林組合)が、新型コロナウイルスの影響による木材市況の下落を受け、生産調整を実施(径級が小さい奥地林等での施業、年間工程の見直し等)することとなり低調となったため、評価対象外とした。

2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林資源の保護	森林資源保護の推進	協議会の開催回数	3	回	R1	3	回	R2	3	100%	R2	調査年月日: R3.10.5 調査方法: 事業実績資料確認
		抵抗性松の植栽本数	4,000	本/年	R1	4,000	本/年	R2	2,250	56%	R2	調査年月日: R3.10.5 調査方法: 事業実績資料確認
	森林環境保全の推進	森林保全指導員の配置人数	4	人	R1	4	人	R2	4	100%	R2	調査年月日: R3.10.5 調査方法: 事業実績資料確認
マーケティング力ある林業担い手の育成	人材の確保・育成・定着	素材生産量	418,000 (H27~H29)	m <sup>3</sup>	R1	430,000	m <sup>3</sup>	R2	489,000	114%	R2	調査年月日: R3.10.18 調査方法: [素材生産量]令和2年木材統計調査及び県独自調査、[新規就業者数]「林業労働力対策」にかかる令和2年度実績等について(林野庁)による
		新規就業者数	25 (H27~H29)	人		30	人		50	167%		
	労働安全の確保	素材生産量 災害発生件数 (減少率)	418,000 (H27~H29) 41 (H25~H29)	m <sup>3</sup> 件	R1	430,000 38 ( 7% )	m <sup>3</sup> 件	R2	489,000 37 ( 10% )	114% 97% ( 133% )	R2	調査年月日: R3.10.18 調査方法: [素材生産量]令和2年木材統計調査及び県独自調査、[災害発生件数]林業の労働災害発生状況(兵庫労働局労働基準部安全課)による

(2) 総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林資源の保護	松林保全体制整備強化、森林保全管理対策で目標値を達成したが、松林健全化促進では目標値の56%となった。	松林の環境維持、林野火災予防や無許可開発及び保安林の適正管理等の森林の保全等を図るため、抵抗性松の植栽や森林保全巡視員の配置等を持続的に行う必要がある。 特に抵抗性松の植栽については、松くい虫被害に強い松林の造成に必要不可欠なため、次年度以降の抵抗性松の植栽目標の達成に向けて、松くい虫防除連絡協議会等の機会の活用や、森林保全巡視員による一般県民への普及啓発を推進していく。
マーケティング力ある林業担い手の育成	林業事業者への雇用改善指導や従事者を対象とした技術研修により新規就業者の確保が図られた。 労働災害発生数については安全巡回指導や伐倒作業現地研修会により林業事業者の安全意識を高め、目標を達成することができた。	林業労働者数維持のため、引き続き新規就業者の確保に向け雇用改善、技術研修の充実に努める。 労働災害数は引き続き巡回指導、研修を行うとともに、さらなる減少のため、県労働局等との連携を強化し指導効果の向上、安全衛生の徹底を図る。